

Sweden Jazz Week

スウェーデン・ジャズ・ウィーク
5/16-5/23

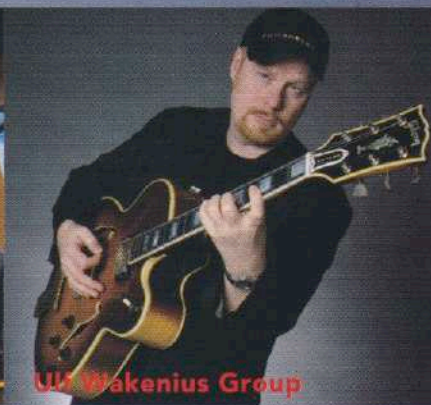
2023年6月6日はスウェーデンのナショナルデー 500周年記念!このスウェーデン建国500周年を祝う音楽イベント“スウェーデン・ジャズ・ウィーク”が5月16日より開催!スウェーデンを代表する11名のジャズ・ミュージシャンが約1週間に亘って東京の有名ジャズクラブ、コンサートホールで演奏を繰り広げます。



Isabella Lundgren & Her Trio



Lars Jansson Trio



Ulf Wakenius Group

<コンサート・スケジュール>

5/16 (火)

■宝生能楽堂「能とスウェーデン・ジャズの邂逅」

出演:イザベラ・ラングレン & Her Trio
入場料:¥4,000 開場 18:00 開演 19:00

5/17 (水)

■Cotton Club スウェーデン・オールスターズ

M・チャージ:¥8,000 [1st.show] 開場 17:00 / 開演 18:00
M・チャージ:¥8,000 [2nd.show] 開場 19:30 / 開演 20:30

5/18 (木)

■Body & Soul (渋谷) ウルフ・ワケーニウス・グループ

M・チャージ:¥7,000 開場 18:30 / 開演 19:30

■Sometime (吉祥寺) ラッシュ・ヤンソン・トリオ

M・チャージ:¥7,000 開場 18:00 / 開演 19:00

■Satin Doll (六本木) イザベラ・ラングレン & Her Trio

M・チャージ:¥7,000 開場 18:00 / 開演 19:00

5/19 (金)

■Body & Soul (渋谷) ラッシュ・ヤンソン・トリオ

M・チャージ:¥7,000 開場 18:30 / 開演 19:30

■Sometime (吉祥寺) イザベラ・ラングレン & Her Trio

M・チャージ:¥7,000 開場 18:00 / 開演 19:00

■Satin Doll (六本木) ウルフ・ワケーニウス・グループ

M・チャージ:¥7,000 開場 18:00 / 開演 19:00

5/20 (土)

■Body & Soul (渋谷) イザベラ・ラングレン & Her Trio

M・チャージ:¥7,000 開場 18:30 / 開演 19:30

■Billboard Live YOKOHAMA ウルフ・ワケーニウス・グループ

Mチャージ: S Area ¥7,800 / C Area ¥7,300 (1ドリンク付)
[1st.show] 開場 15:00 / 開演 16:00 [2nd.show] 開場 18:00 / 開演 19:00

■Satin Doll (六本木) ラッシュ・ヤンソン・トリオ

M・チャージ:7,000円 開場 18:00 開演 19:00

5/22 (月)

■Sometime (吉祥寺) ウルフ・ワケーニウス・グループ

M・チャージ:¥7,000 開場 18:00 開演 19:00

■Billboard Live YOKOHAMA ラッシュ・ヤンソン・トリオ

Mチャージ: S Area ¥7,800 / C Area ¥7,300 (1ドリンク付)
[1st.show] 開場 15:30 / 開演 16:30 [2nd.show] 開場 18:30 / 開演 19:30

5/23 (火)

■浜離宮朝日ホール

Seiko Presents “Seiko Starry Night Concert” Vol.28

出演:イザベラ・ラングレン & Her Trio、森山良子

チケット:¥5,000 (全席指定) お問合せ:バルケニック 03-3470-1155 (平日 12:00~18:00)

5/27 (土)

■熊本県 桜十字ホールやつしろ「八代まちなか音楽祭」

イザベラ・ラングレン & Her Trio

出演:イザベラ・ラングレン & Her Trio 他

チケット:無料

5/28 (日)

■Billboard Live OSAKA

イザベラ・ラングレン with アロー・ジャズ・オーケストラ

出演:イザベラ・ラングレン & Her Trio with アロー・ジャズ・オーケストラ

Mチャージ: S Area ¥8,500 / C Area ¥8,000

[1st.show] 開場 15:00 / 開演 16:00 [2nd.show] 開場 18:00 / 開演 19:00

各会場 URL 一覧

宝生能楽堂: <http://www.hosho.or.jp>

Cotton Club: <http://www.cottonclubjapan.co.jp/jp/>

Body & Soul: <https://www.bodyandsoul.co.jp>

Sometime: <https://www.sometime.co.jp/sometime/>

浜離宮朝日ホール: <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>

Billboard Live Osaka: <http://www.billboard-live.com/pg/shop/index.php?mode=top&shop=2>

企画・制作

Spice of Life

株式会社スパイスオブライフ
<http://www.spiceoflife.co.jp>



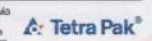
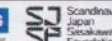
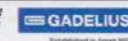
Embassy of Sweden
Tokyo

sweden
2023.eu

共催:スウェーデン大使館

<https://www.swedenabroad.se/ja/embassies/japan-tokyo/>

協賛 アトラスコップ株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社
ガデリウス・ホールディング株式会社、スカンジナビア・ニッポン・サカタ財団、日本テトラパック株式会社



Sweden Jazz Week

参加するミュージシャンは日本でも人気が高い
スウェーデンを代表するアーティストばかり！



Isabella Lundgren & Her Trio

イザベラ・ラングレン Isabella Lundgren (Vo)

イザベラ・ラングレンはジャズをこよなく愛し、家ではいつもジュディ・ガーランドやビリー・ホリデーの歌が流れていたという両親のもと、スウェーデン人の心の故郷と言われる美しいヴェルムランド地方で生まれ育った。18歳の時にニューヨークのニュースクールに入学して本格的にジャズを学ぶ。22歳でアメリカ留学からストックホルムに帰国するやいなや、その実力を認められてデビューアルバム「It Had To Be You」で幸運なデビューを飾り、スウェーデン・ジャズ界にフレッシュな新風を吹き込んだ。このアルバムは日本で2013年に発売されチャリングな容姿で切なく歌い上げる歌唱は一躍大きな人気を博した。同年スイート・ジャズ・トリオ「Why Try To Change Me Now」にシンガーとして参加し2014年3月にはスイート・ジャズ・トリオのゲストシンガーとして初来日。同年に発売された彼女の第2弾アルバム「Somehow Life Got In The Way」は2015年スウェーデンの有カジャズ専門誌オルケスタ・ジャーナルでアルバム・オブ・ジ・イヤーを獲得。女性シンガーとしての同賞受賞は39年ぶりの快挙であり、スウェーデンを代表する若き歌姫へと大きく飛躍した。2015年には待望の新作「Isabella sings treasures of Harold Arlen」が発売され、このアルバム発売を記念して11月に彼女自信初の日本ツアーを行い、大成功をおさめた。2017年、「月」にまつわる名曲を集めた「Songs To Watch The Moon」、2018年はスウェーデンと日本の友好条約締結150周年を記念し、「旅」にまつわる名曲を集めたアルバム「Hit The Road To Dreamland」を発売し、それぞれ発売記念コンサートが行われた。スタンダード・ナンバーをこよなく愛するシンガー、イザベラ・ラングレン。益々円熟味を増したノスタルジックで甘美な歌声は聴く人の心を捉えて離さない。



Daniel Fredriksson(Dr)



Niklas Fernqvist(B)



Carl Bagge(P)

Lars Jansson Trio

ラーシュ・ヤンソン Lars Jansson (P)

現代ヨーロッパを代表するジャズピアニスト、作・編曲、プロデューサー。

1951年2月25日、スウェーデン中部オーレブロ市に生まれる。7歳の頃よりピアノを始める。70年にイェーテボリ大学歯学部に入學、歯医者を目指すのが、72年、音楽への情熱を棄て難く同大学音楽学部に入塾する。74年に同校を卒業後、75年ノルウェーのアリルド・アンデルセン・グループを皮切りに、数々の北欧のトップグループに参加。79年、自己のトリオを結成。87～88年、ヤン・ガルバレック・グループに参加し、世界各地でコンサート活動を行う。90年には、スウェーデンの優秀なジャズミュージシャンに与えられるヤン・ヨハンソン音楽賞を受賞する。またこの年には、当時スウェーデンに在住していたジャズベース界の巨匠の一人、レッド・ミッチェルのトリオにも参加している。98年、デンマーク政府からの要請により、デンマークで初めてジャズの教授としてオールヒュス国立音楽大教授に就任。数多くの優秀なミュージシャンを育成した。

99年以降は毎年のように来日し、日本各地でライブ演奏を精力的に行い多くの熱心なファンを獲得している。日本における北欧・スウェーデンジャズ人気を作り上げた立役者の一人である。2016年に自身の代表作をセルフカバーしたアルバム「More Human」を発表大ヒットした。さらに2018年10月に最新作「Just This」を発売し精力的な音楽活動を続けている。

2022年にはSwedish Music Academy賞をスウェーデン国王より受賞。これでまた一つ彼に大きな栄誉が加わった。日本をこよなく愛し、その歴史や文化、そして仏教に造詣の深いラーシュ・ヤンソンの一層の活躍が楽しみだ。



Thomas Fønnesbaek(B)



Paul Svanberg(Dr)



Ulff Wakenius Group

ウルフ・ワケニウス Ulff Wakenius (G)

1958年スウェーデンのハルムスタッドに生まれる。

現代スウェーデン・ジャズ界で最も国際的な活躍をしているアーティストの一人であり、オスカー・ピーターソンが現代最高のギター奏者と絶賛したプレイヤーである。

80年代は主にベーター・アルムクヴィストとのギター・デュオ・グループ「ギターズ・アンリミテッド」で活躍し、80年代後半に結成した自己グループ「ウルフ・ワケニウス・グループ」では、キーボードがラーシュ・ヤンソン、ベースがラーシュ・ダニエルソン、テナー・サクソスがオーベ・イングマルソンというスーパーバンドで高い人気を得た。その後、ハービー・ハンコック、レイ・ブラウン、ジョー・ヘンダーソンらとヨーロッパで共演。95年にレイ・ブラウンのアルバム「セブン・ステップ・トゥ・ヘブン」のレコーディングに抜擢され高い評価を得る。同じく95年に、デンマークの生んだ世界的ベース奏者、ニール・ヘニング・オルステッド・ベデルセンのトリオにギター奏者として迎えられ、さらに、同年オスカー・ピーターソン・カルテットのレギュラー・メンバーに抜擢され活躍の舞台を世界に広げ注目を集めることになる。

ソロ・プロジェクトとしては2003年3月に発売された、「Tokyo Blue」はウルフにとって初の日本国内版デビュー作として彼の名を一気に高めるヒット作品となり、第2弾「Checkin' Inn」(2004年5月に発売)、ソロ・アルバム「Eternity」(2005年4月に発売)が発売され、驚異的なテクニックとメロディアスで良く歌うギタースタイルで人気を不動のものとした。

更にウルフがオスカー・ピーターソンから学んだジャズスピリットを継承していこうと結成されたグループ In The Spirit Of Oscar として2006年6月に「Cake Walk」2008年1月に「Easy Does It」をリリース。2008年秋に In The Spirit Of Oscar は来日公演を行い大成功を取めた。



Ove Ingemarsson(Ts)



Hans Backenroth(B)



Calle Rasmussen(Dr)